

消費税率引上げ後の消費動向等 について（6月第1週）

平成26年6月13日

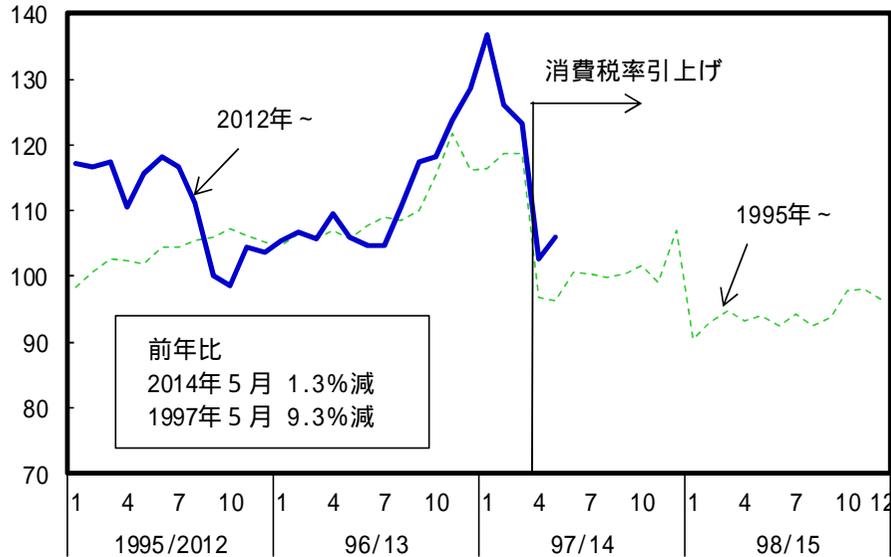
内閣府

自動車・家電販売の動向

自動車販売は、5月は前年比で約1%減となり、4月からマイナス幅縮小。ただし、足下の受注は弱いので、先行きは慎重にみる必要がある。

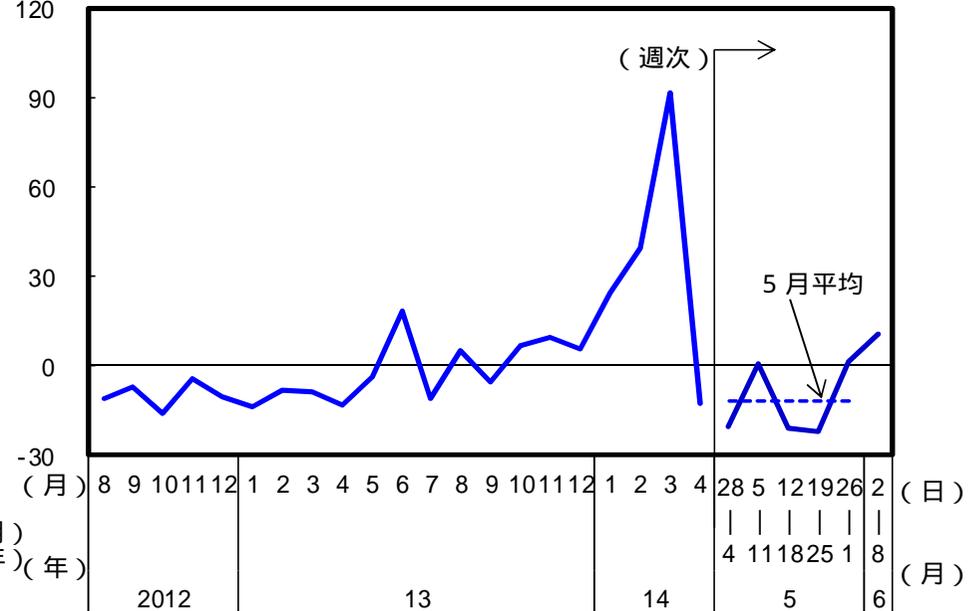
主要5品目の家電販売は、6月第1週も、先週に引き続き、エアコンなどの売れ行きが好調だったこともあり、前年比10%程度増と、前年比プラスとなった。

新車販売台数（含軽）（1997年頃との比較）



（備考）1．日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会により作成。
2．内閣府による季節調整値を指数化したもの。

家電販売金額（家電量販店主要5品目）（税抜き）
（% 前年比）



（備考）1．GfKジャパン（全国の有力家電量販店販売実績を調査・集計）により内閣府作成。
2．テレビ、エアコン、冷蔵庫、パソコン、携帯電話の5品目の合計。税抜き価格ベース。
3．主要5品目の販売状況の集計値であるため、2014年3月までは、前年比が高めに出る傾向があった。

自動車販売台数（除軽、登録ベース）について、6月第1週は再び前年比マイナスに転じ、先週からあまり変化はない。商談の中で増税というワードが少なくなってきたものの、成約まで結びつかないとの声が聞かれる。

【業界団体A】

軽自動車販売台数（届出ベース）について、6月第1週は低調な立ち上がりだったものの、想定範囲内とみている。6月中旬に新型車が発売される予定だが、そこまで大きな押し上げ効果になるとは見込んでいない。

【業界団体B】

6月第1週は、エアコンやテレビが好調だったことなどから、前年比プラスとなった。全カテゴリーでも、前年比プラスに転じた。品目別では、エアコンなどの大型白物家電やテレビのほか、小型の調理家電や除湿機などが好調。

【市場アナリスト】

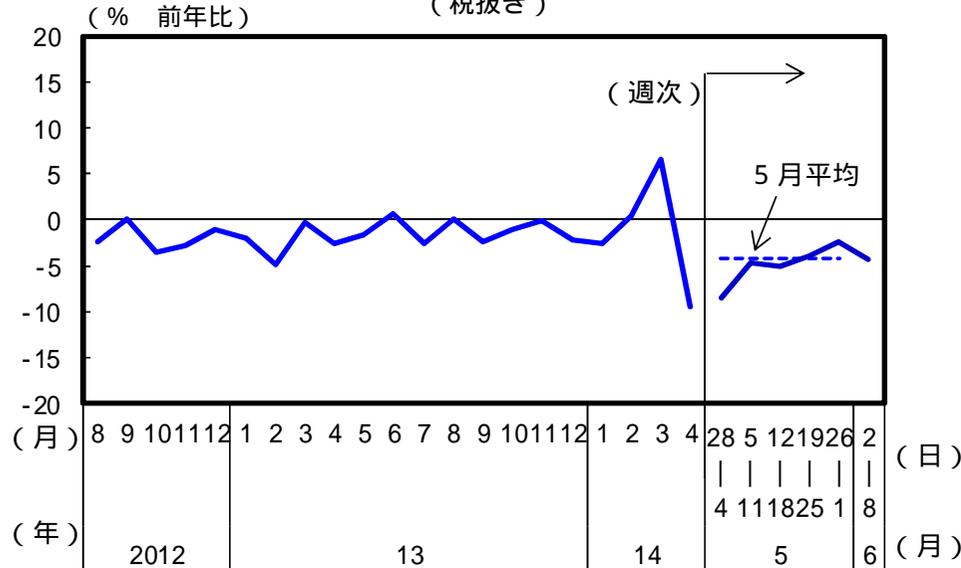
6月第1週は、エアコンやテレビの売れ行きが好調で、前週に引き続き、前年比プラスとなった。反動減からまだ抜けないものの、改善傾向にあると認識している。

【家電量販店】

飲食料品・百貨店・サービス販売の動向

飲食料品は、6月第1週では、天候不良もあり、前年比約4%減と先週からマイナス幅がやや拡大。一部には、反動減から反転した、との声も聞かれる。

飲食料品（除く生鮮食品）販売金額（スーパー）
（税抜き）



(備考) 1. KSP (全国の食品スーパーマーケット販売実績を調査・集計) により作成。
2. 加工食品、飲料・酒類、菓子類の3品目の合計。税抜き価格ベース。
3. 既存店ベースのため、前年比が低めに出る傾向がある。
4. 5月26日～6月1日及び5月平均のデータは、速報値。

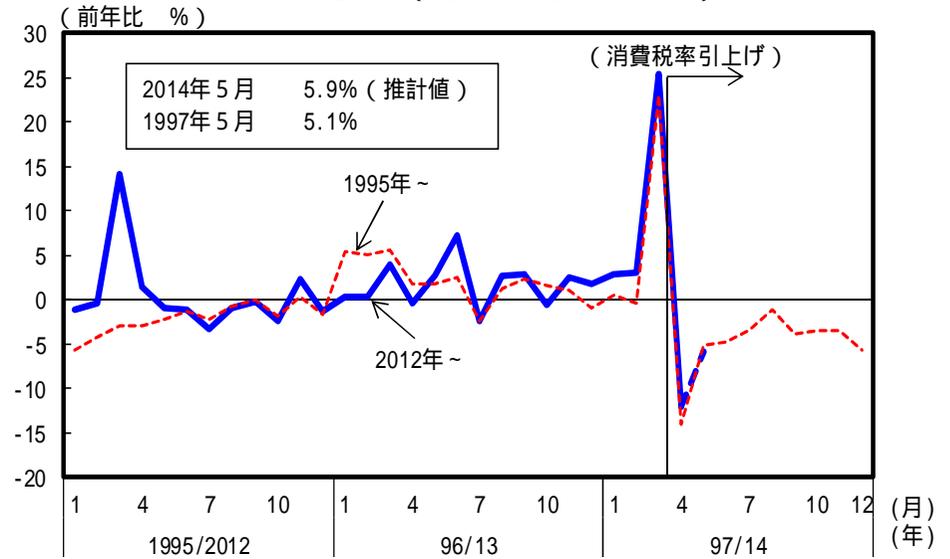
6月第1週は週後半に雨が降ったこともあり、前年比プラスとなったものの、プラス幅は前週より縮小した。天候要因での変動であり、雨が降らなかった日は、前年比プラスとなったことから、反動減から反転したとの認識に変わりはない。
【食品スーパー】

サービス消費は、旅行は、6月以降も堅調に推移するものとみられる。外食は、6月第1週は天候不良の影響を受けたものの、引き続き底堅いとみられる。

天候不良の影響を受けたものの、売上は前年比プラスを維持。各種イベントの開催も売上を押し上げている。
【外食チェーンA】

6月第1週の百貨店売上げは、雨天による来店客数減少を背景に、食料品や季節衣料品を含む広いカテゴリーで、弱い動きとなった、との声も聞かれる。

百貨店売上高（税抜き、既存店ベース）



(備考) 2014年5月の値は、高島屋、三越伊勢丹、大丸、阪神阪急百貨店のデータにより推計。実績値は日本百貨店協会資料。

6月第1週は天候が悪かったことから、入店客数が前年比で減少し、売上も前年比減少幅が拡大した。衣料品だけでなく、入店客数に比例しやすい飲食料品も、前年比減少となった。
【百貨店A】

6月に入り、雨の日が増えたことから、売上前年比減少幅が拡大した。高額商品をはじめ、5月に好調だった季節衣料も、前年比減少となった。
【百貨店B】